

2020年に向け、KADOKAWAのスポーツメディア始動

～ニュースサイト「ASCII.jp」内にて
 スポーツビジネス特設サイト

「Sports Business on ASCII」を6月14日オープン～



The screenshot shows the 'Sports Business on ASCII' website. At the top, there's a navigation bar with categories like 'トップ', 'AI', 'IoT', 'ビジネス', 'TECH', 'WebPro', 'デジタル', 'iPhone/Mac', 'ゲーム・ホビー', '自作PC', 'AV', 'アキバ', 'スマホ', 'スタートアップ', 'VR', 'ウェアラブル', and 'ASCII倶楽部'. Below this is a secondary navigation bar with various brands and products. The main content area features a section titled 'スポーツビジネス最新ピックアップ' (Sports Business Latest Pick-up) with a sub-headline '三木谷浩史会長と契約書にサイン：イニエスタ神戸移籍「アジアナンバーワンめざす」' (Chairman Hiroshi Miki signs contract: Iniesta moves to Kobe 'aiming for Asia's number one'). The article text mentions that Iniesta is moving from FC Girardino to FC Urawa Red Diamonds. There are also buttons for '内容を読む' (Read content). To the right, there's a sidebar with '「スポーツビジネス」の詳細情報はこちら' (Detailed information about Sports Business is here), 'Sports Marketing' (Sports Marketing strategy using sports), 'Sports Technology' (Sports technology changing the world), and 'アクセスランキング' (Access Ranking).

株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹）では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2019ラグビーワールドカップなど、日本での大規模な国際スポーツイベント開催に向けてスポーツ情報やスポーツビジネス情報を発信してまいります。その一環として、本日より、株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：芳原世幸）が運営するニュースサイト「ASCII.jp」内に、スポーツビジネス特設サイト「Sports Business on ASCII」
[\(http://ascii.jp/sportsbusiness/\)](http://ascii.jp/sportsbusiness/) を開設いたしました。

スポーツビジネスへの関心が高まる機運を背景に、本メディアでは企業によるスポーツを活用したマーケティング活動、自治体によるスポーツを通じた地域振興など、スポーツ業界だけにとどまらない国内外のスポーツビジネス事例や最新情報をお伝えしてまいります。

スポーツ庁では、2025年までに日本のスポーツ市場規模を15.2兆円、現状の3倍に拡大するという数値達成を目標に掲げており、2020年を機にスポーツビジネスを展開したい企業・団体・個人は増加の兆しを見せています。本メディアでは、関係する組織、個人に知見を提供し、新たなビジネス創出を促進することで、スポーツビジネス全体の発展に寄与してまいります。

また今後、角川アスキー総合研究所では、スポーツビジネス分野のスペシャリストによるスポーツビジネスセミナー開催等を予定しております。

■ASCII について

「週刊アスキー」電子版やニュースサイト「ASCII.jp」を中心に IT 情報を広く発信するほか、会員サービス『ASCII 倶楽部』も運営しております。

URL : <http://ascii.jp/>

■株式会社角川アスキー総合研究所 概要

KADOKAWA の法人向けの調査・コンサルティング事業や出版事業、教育支援事業などを展開するシンクタンク会社。テクノロジー分野のイノベーターとして活躍している方々を主席研究員として招聘し、その方々の知見と KADOKAWA の持つコンテンツ力、メディア力、リサーチ力、技術力とを総合的に発揮することで、日本のメディア・コンテンツ産業全体の発展に貢献することを目指しています。

角川アスキー総合研究所 URL : <http://www.lab-kadokawa.com/>

以上

<本リリースに関する報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社KADOKAWA

オフィシャルサイト : <https://www.kadokawa.co.jp/>